

企業紹介

大型焼却炉を導入し、資源の循環、 環境負荷の低減に貢献

A E E 青木環境事業株式会社

代表取締役 青木 勇
〒950-3102 新潟市北区島見町3268-15
TEL(025)255-3360 FAX(025)255-3390
URL <http://www.aokikanky.com/>

業 種：産業廃棄物処理
資 本 金：1,000万円
事業内容：産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集
運搬・処理、管路清掃・調査・補修処理、
改良土（再生土）販売

汚泥など産業廃棄物を収集運搬し、処理・リサイクルする青木環境事業(株)。平成19年秋には、収集した産業廃棄物を焼却するための大型焼却炉を導入した。その規模は県下最大級で、併設した乾燥炉では廃熱を利用して汚泥のリサイクルも行う。環境への取り組みが重要視されている今日、同社では、廃棄物の処理・リサイクルをとおして資源の循環、環境負荷の低減に貢献していく。

環境に関わる幅広い事業を手がける

同社では、新潟市を中心に東北、信越、関東地域で、強力吸引車等を使い、建設現場から排出される汚泥の収集、排水路や用水路などに貯まった汚泥の除去・清掃を行うほか、自走式TVカメラを使った下水道等の調査・修繕、その他産業廃棄物の収集運搬・処理、アスベストの除去など、環境に関わる幅広い事業を手がけている。特に、汚泥吸引においては30年余の実績があり、強力吸引車の保有台数は全国でもトップクラスを誇る。



▲強力吸引車。全国でもトップクラスの保有台数

また、同社の技術は様々な災害現場でも活躍しており、平成9年のナホトカ号重油流出事故では、福井県の海岸で同社の汚泥吸引技術を用い、多くの重油を回収。平成19年の中越沖地震では、いち早く現場へ駆けつけ、下水道等管路内の検査や修繕を行い、被災地の復旧に貢献した。

一方で、同社は、資源の再利用化を目指して、積極的な設備投資も行っており、平成9年には焼却炉や汚泥のリサイクル施設等を備えた「テクノマネージメントセンター」を本社敷地内に設置。自社で産業廃棄物の収集運搬から処理・リサイクルまで行う一貫体制を確立した。

県下最大級の大型焼却炉を導入

そして、平成19年秋には、県下最大級となる大型焼却炉を同センター内に導入。新焼却炉は24時間稼働で1日当たり93.6トン焼却できるとともに、従来より扱っていた医療系廃棄物等の産業廃棄物に加え、これまで処理が困難とされてきた重金属に代表される有害物質を含む汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ（特定有害産業廃棄物）も焼却が可能となった。



▲県下最大級の大型焼却炉

一方で、周辺にダイオキシン等有害物質を排出させないための取り組みも徹底しており、高性能な装置を完備した分析室で、焼却前に廃棄物の含有物を詳細に分析するとともに、燃焼時には温度を中央制御室で徹底管理する。また、発生した煙はバグフィルター（ろ過式集塵装置）等を通すことで、有害物質を完全に除去する。さらに、燃焼時に出る熱を利用して汚泥を乾燥させるなど、廃熱もエネルギーとして有効活用している。

環境負荷の低減に貢献

環境保全が叫ばれる今日、処理の難しい廃棄物も完全焼却で灰と化し、最終処分される廃棄物の容量を減少させる同社の取り組みは、環境負荷の低減にも繋がっている。「今後は、現在最終的に埋め立て処分している灰も、自社でリサイクルできるようなシステムを整えたい」と同社は今後の展望を語る。